

## 伝えたいこと

校長 遠藤 玲

### □第46期生徒会立会演説会及び投票から

#### ◎立候補してくれた生徒の思いを大切にしていきたい

今回は7つの役職に対して、8名の1、2年生が立候補してくれました。他の学校ではすべて信任投票になるケースや、投票自体を行わないこともあるようです。うれしいことに本校は「明倫中学校のことを真剣に考え、よりよくするために、先頭にとって頑張ります」と考えてくれる生徒がたくさんいてくれる、と捉えています。立候補者は明倫中学校や校内生活のことを見つめ直し、改善策そして目指すもの（こんな学校にしたい）を堂々と訴える姿に頼もしさを感じました。立候補者の皆さんの挑戦しようという気持ち、加えて、その行動は大いに評価しなければいけません。



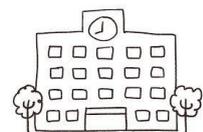
#### ◎新しい様式の立会演説会 話し手・聞き手ともに真剣なまなざし

従来の立会演説会といえば全校生徒が体育館に一堂に会し、立候補者がタスキを肩に、ステージ上から演説していました。コロナ禍において、未だ全校生徒が体育館に集うことはできません。今回も昨年同様に、立候補者の演説を「生」で各教室にテレビで放送しました。画面を通してではありますが、教室には立候補者の思いに対して、真剣なまなざしで受けとめようとする姿がありました。また、運営の選挙管理委員の生徒たちが各教室のテレビ放送の状況の確認や学年ごとの投票会場への誘導等に一生懸命取り組む姿も印象的でした。ちなみに、投票箱は市選挙管理委員会から「本物」をお借りしたものです。これもまた将来につながる貴重な「学び」になってくれるはずです。数年後には日本や北海道、そして苫小牧市の行く先の決める一票を投じる有権者です。



#### ◎立候補者が目指す「こんな明倫中学校にしたい・こんなことがやりたい」

- ・「五入三着」等のルール徹底
- ・全校生徒での新しい行事の実施
- ・あいさつを広げ、「楽しい」が増える学校にしたい
- ・一人ひとりに寄り添った明るい学校づくり
- ・全校生徒の意見を目に見えるものにするための「意見箱」の活用
- ・あいさつの活性化を意識した取組の実施
- ・いじめなどで嫌な思いをする人がいない笑顔あふれる学校づくり
- ・前向きな気持ちで「きまり」を守れるような取組の実施
- ・誰とでもさわやかなあいさつを交わせる学校
- ・行事の運営や学校生活の改善を図るための「意見箱」の活用
- ・生徒会活動の情報を「生徒会だより」を月1回発行することで、全校生徒に知ってもらおう取組の実施
- ・学校に貢献し、全校生徒の皆さんの役に立ちたい。
- ・いじめについて考える機会をつくりたい。
- ・ノーチャイムデーの実施
- ・いじめを減らす取組の実施
- ・意見箱を利用し、「校則や学校行事、委員会活動」の見直しを図る。



※順不同であり、選挙公報や演説からの抜粋ですので、一部立候補者の思いを十分にとらえきれない表現もあるかもしれません。

私たち大人も、生徒たちの思いを実現させるために努力をしなければいけません。「明倫中学校をよりよくしたい」それはみんなの願いでもあります。一人一人立候補してくれた生徒の思いを聞いたことは、私校長にとっても「襟を正す」いい機会になりました。

## □3年目「こころの授業」特設道徳 講師 古屋 良一 氏

4日(月)からの4日間、古屋 良一氏(白老町在住)を招いての特設道徳(こころの授業)を行いました。古屋氏がそれぞれの学級に出向いての授業で、計11回にわたり、直接子どもたちに語りかけていただきました。古屋氏には、一昨年から講師をお願いしています。

【テーマ】	1年生・7組	「発想の転換～しんどい時こそ笑え」
	2年生	「人との関わり」
	3年生	「いのちの大切さ」



9月5日の全校道徳講師 伊藤 芳正氏と同じく文化講演会のメンバーとして、全国各地で講演活動を行っているプロです。ご自身の自己紹介・生い立ち(家系図)に始まり、ご家族のことや子どもたちに伝えたいことを笑いを交えながら熱く語っていただきました。授業終了後には感動のあまりに涙ぐんでいた生徒もいたようで、子どもたちにとっても「何かを感じてくれた50分」になりました。今の自分自身や身の周り・日常のありがたさ等について改めて見つめ直してくれたはずです。今後も多様なプロフェッショナルと直に関わる学びの機会を設けていきます。

## □感染対策・体調管理の徹底は引き続きお願いします

おかげさまで、本校は新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖等の「学びを止める」ことがなく、教育活動が展開できています。これからインフルエンザが心配される時期でもあります。子どもたちの「学びの保障」のためにも、これまで同様の感染対策及び体調管理の徹底にご協力をお願いします。また、日中の寒暖差や校舎内の暖房(座席によって寒暖差は大きく違います)に対して、着衣による調節工夫も合わせてよろしくをお願いします。※本市小・中学校は11月から暖房機運転可能になります。



## ◆弾道ミサイルの飛来に係る対応について

まずは3日(月)登校時間の弾道ミサイルの発射を知らせる警報(Jアラート)に関して、学校へ数件の問い合わせの電話がありました際に混乱や不安を抱かせてしまったこととお詫びいたします。今後このような事態の対応については、10月6日付苫小牧市教育委員会からの「弾道ミサイルが飛来する可能性がある場合の対応に関するお知らせ」に基づき行いますので改めてご確認願います。登校直前の警報は「登校を見合わせる」こととなります。また、着弾・安全確認ができれば再開となります。

緊急事態直後は、学校からの情報提供や指示について難しいことも予想されます。最優先となるのは「安全」です。ご家庭においても状況を把握し、最適な行動の判断をよろしくをお願いします。なお、明倫中学校は災害時の『緊急避難場所』でもあります。

## □学校と家庭が協力した「いじめ対応」について

北海道教育委員会よりリーフレットが出されています。詳しくは [https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/fs/6/9/0/9/7/6/0/\\_/kyouryoku.pdf](https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/fs/6/9/0/9/7/6/0/_/kyouryoku.pdf) を参照願います。

QRコード



## 大会等の主な結果

- 【卓球部】 市民卓球大会 男子・女子団体ともに 第3位  
秋季中体連 男子・女子団体ともに 第4位  
西胆振中学校卓球大会 男子団体 優勝  
女子団体 準優勝
- 【アイスホッケー部】 日胆中学生大会 合同B 優勝
- 【野球部】 秋季中体連 準優勝

11月は



「親子読書」強調月間です  
～親子いっしょに、同じ時間に、同じ場所で～



苫小牧市教育委員会・苫小牧市立中央図書館